

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための配慮を行いながら「主体的・対話的で深い学び」を実現するために

国語 第4学年 場面のうつり変わりと結び付け、登場人物の変化を読む 「ごんぎつね」

まずは…相手意識、目的意識を明確にした言語活動を設定しましょう。
→教科書の学習の手引「広げよう」などを参考にして、言語活動の成果物（教科書の例示では「せんでんポスター」）を設定するとよいでしょう。

工夫例1 ポスター作成の過程で、アドバイスを書き込める欄を設けることで、思考の視覚化を図る。

工夫例2 各自の机の上に置いて互いの完成したポスターを見合い、付箋による交流を行う。（付箋による交流後に、ポスターを見直す時間を十分に確保すると、自分の考えを広げたり深めたりすることがより充実します！）

ポイント 〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域にある「共有」の指導事項を具体化すると、対話的な学びがより充実します！

算数・数学 第6学年 分数のわり算

本時の目標の達成に向けて、子どもにとって「何が難しいのか」を明らかにし、考えを発表し合うだけでなく、よりよい考えに高めたり、事柄の本質を明らかにしたりすることが大切です。

工夫例1 「 $1 \div 6 \div 3$ の計算の仕方を考えよう」から「なぜ分母に割る数かけるのか」に学習課題を焦点化し、「途中までは分かる」や「自信はない」などコメントを書かせ、学びの変容や自覚を深める。

工夫例2 「 $1 \div 6 \div 3 = 1 \div 2$ 」のように「誤答」を提示して、何を間違えたのかを図や式、言葉など数学的な表現を柔軟に用いて付箋やノートに書き出し、実物投影機等で共有する。

ポイント 単元及び本時の学習をとおして「何ができるようになるか」を子どもの姿でイメージしましょう！

図画工作 第6学年 自然を感じる素敵な場所で

工夫例1 造形遊びを行う際に、密集しないよう、グループの人数や活動場所を割り振る等の工夫をする。

工夫例2 落ちていた葉を形や色ごとに分けながら、美しくなるように構成する活動の中で、見付けたこと、思い付いたことをワークシートに記入する。

振り返りでは、作品を大型テレビ等で投影しながら、児童のワークシートの記述を紹介する。友達の作品を見て、考えたこと、感じたことを付箋やカードに書き出し、実物投影機等で共有する。

ポイント 共通事項（形や色）を根拠に作品の意図や特徴を説明させる、感想を伝え合う等、言葉で整理する活動を取り入れることで、自分の見方や感じ方を深めることができます！

- 目的
- (1) 知識及び技能が習得されるようにすること
 - (2) 思考力、判断力、表現力等を育成すること
 - (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養すること

「主体的・対話的で深い学び」は資質・能力を育成するための授業改善の視点

「主体的・対話的で深い学び」

- 資質・能力を育成するために多様な学習活動を組み合わせることで授業を組み立てていくことが重要です。
- × 高度な社会課題の解決だけを目指したり、そのための討論や対話といった学習活動を行ったりすることのみが主体的・対話的で深い学びではありません。

【見方・考え方を働かせて】

- 児童生徒が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、
- ・知識を相互に関連付けてより深く理解する
 - ・情報を精査して考えを形成する
 - ・問題を見いだして解決策を考える
 - ・思いや考えを基に創造したりする
- これらの学習に向かう過程を重視します

【非言語コミュニケーションの重視】

マスクで表情が見えないからこそ、相手の反応をよく観察しながら話したり、相手の発言にうなずいたりして、相手意識をもちながらコミュニケーションを図れるようにしましょう。

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して

- ・自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか
 - ・自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか
 - ・児童が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか
- 1単位時間で「主体的・対話的で深い学び」を実現することは困難です。単元や題材などのまとまりを見通して計画しましょう。

児童生徒の思考の視覚化

討論や対話だけが「主体的・対話的で深い学び」ではありません。児童生徒の思考を視覚化することで、比較したり、問題を見いだしたりすることができます。思考ツール等も活用しながら、児童生徒の思考を視覚化するための工夫を図りましょう。

ICTの効果的な活用

ICT機器の活用は、児童生徒の思考を視覚化することができるとともに、プレゼンテーションソフト等を活用したり、映像を活用したりすることで、児童生徒が協働的に活動することもできます。ICT機器を効果的に活用しましょう。

外国語 第2学年 Unite3 Career Day 夢の世界旅行 行きたい国についてたずね合おう

工夫例1 自分の行きたい国について情報を集めるため、観光名所や有名な食べ物など、その国の魅力について付箋に書き出し、思考を広げる。

工夫例2 内容を整理したメモに基づいてペアで行うやりとりの際に、「会話の流れを書いたメモ」から「キーワードのみによるメモ」というように段階的に指導し、即興的なやりとりにつなげられるようにする。

工夫例3 やりとりの様子を撮影したものと生徒が記入した振り返りシートをモニタに映し出し、課題を全体で共有したり、新たな目標を設定したりする。

ポイント やりとりの際には、最初から流暢かつ正確な言葉遣いで応答ができるとは限りません。即興的なやりとりを行う機会を確保するとともに、自らの課題に気付かせるなど、自分のやりとりを見直す時間をつくるのが大切です。

理科 第1学年 身近な物理現象

工夫例1 条件を制御した観察・実験を計画する場面において、「変える条件（独立変数）」と「変えない条件」を指摘できるようにするために、「変化すること（従属変数）」【例：音の高さ】の「原因として考えられる要因（独立変数）」【例：弦を張る強さ等】をノートに全て書き出し、ノートを実物投影機等で共有しながら、自分の考えた要因の妥当性を検討する。

工夫例2 観察・実験の考察の場面において、例えば、実験における条件制御の視点や、課題（仮説）に正対するという視点を示し、生徒自身が考えを検討して改善できるよう、生徒の思考を促す助言や問い返しをする。

ポイント 単元内容の関係で観察・実験が扱えない場合も、調査して論理的に検討を行うなど、探究の過程を経ることが大切です。

保健体育

第1学年 球技：ゴール型（サッカー）

工夫例1 密集しないようチームの人数、練習の方法やゲームのルール等を工夫する。

工夫例2 個人やチームの課題をホワイトボード等で共有できるようにし、練習やゲームの様子を観察しながら付箋に気付いたことやアドバイスを書き、ホワイトボード（学習カード）に貼る。そのアドバイスを基に自己の課題について見つめ直したり、練習の方法を考えたりする。

工夫例3 ボールを持たないときの動きについて、タブレットで撮影し、交代で視聴しながら課題の解決方法や気付いたことをホワイトボードに書き出し、共有する。 など

ポイント 単元の中で、課題を発見し、知識・技能を生かして合理的な解決に向けた学習過程を計画することで、「主体的・対話的で深い学び」につながります！

小学校の例



中学校の例

